

平成29年6月2日（金）

・（公財）いしかわ農業総合支援機構

担当：松本 電話：076-225-7621

・農業政策課 農政推進グループ

担当：見田村（4693）電話：076-225-1661

## 第42回いしかわ農業振興協議会総会の開催について

- 1 日 時 平成29年6月6日（火） 14:00～15:15
- 2 場 所 石川県農林総合研究センター第1会議室  
（金沢市才田町戊295-1）
- 3 会長挨拶  
いしかわ農業振興協議会会長 元 林 秀 夫
- 4 来賓祝辞  
石川県知事 谷 本 正 憲  
石川県議会議長 米 澤 賢 司（代理） 安 居 知 世
- 5 中核農家経営改善・事業多角化及び地域農業振興共励会表彰式（受賞者 別紙）
- 6 会長感謝状贈呈式（被交付者 別紙）
- 7 議 事  
第1号議案：平成28年度事業報告及び収支決算承認の件  
第2号議案：平成29年度事業計画及び収支予算（案）承認の件
- 8 参集者 会員等150名
- 9 事務局  
（公財）いしかわ農業総合支援機構 担当 松本 TEL(076)225-7621

（参考）総会に引き続き「記念講演」（15:30～17:00）を開催

演題：「地域で取り組む商品開発“のともーるスマイルプロジェクト”」

講師：生活協同組合 コープいしかわ

理事長スタッフ 脇坂善文 氏

## 中核農家経営改善・事業多角化及び地域農業振興共励会受賞者名簿

## (1) 経営改善・事業多角化共励会

## 【優秀賞（知事賞）】

(ふりがな) 受賞者氏名	経営面積等	受賞理由
きた こうえい 北 孝栄  小松市	水稲 3.5ha トマト 60.0a ミディトマト 3.0a ストック 20.0a フリージア 2.0a	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養液栽培でのトマトの周年栽培に加え、冬期の栽培品目として花き（ストック、フリージア）を導入し、収益性の高い安定した経営を実現している。</li> <li>・新規技術（大型ハウスでのトマト栽培管理に ICT 機器を活用）や新規作物（市場評価の高いミディトマトや、県育成のフリージア「エアリーフローラ」等）の導入を積極的に行い、経営改善につなげている。</li> </ul>
有限会社福井牧場  代表 ふくい かずゆき 福井 和幸  七尾市	乳用牛 ・経産牛 25 頭 ・育成牛 20 頭  飼料作物 ・イタリアンライ グラス 9.0ha ・飼料用トウモロ コシ 3.0ha	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自家生産した完熟堆肥を用いた「土づくり」、その健康な土から生産される良質な「牧草づくり」、その牧草を基本とした自給飼料給与による「牛づくり」の「3づくり」の実践を経営理念とし、粗飼料のほぼ100%を自給する堅実な酪農経営を実現している。</li> <li>・栄養価の高い飼料を給与し、きめ細かな乳牛の飼養管理や、マニュアルに厳密に従った「正しい搾乳」を実践している。その結果、経産牛の平均乳量について、トップクラスの生産・技術力を有しており、乳質成分も非常に優れることから、乳業メーカーの評価も高く、県内酪農家の模範となっている。</li> </ul>

【奨励賞（会長賞）】

(ふりがな) 受賞者氏名	経営面積等	受賞理由
かわばた よしのぶ 川端 善伸 (G & B川端園芸)  白山市	花き鉢物、苗物 158 千鉢 (施設 24a、露地 6a) ポインセチア 8 千鉢 宿根サルビア 60 千鉢 花壇苗 50 千鉢 その他 40 千鉢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場やファッション業界等がタイアップして流行を仕掛ける花き園芸において、市場の展示商談会や品評会等に毎年参加し、仲卸や販売店からの新たな情報を取り込みつつ、新しい流行にそった生産活動や普及活動に努め業界の販売戦略をサポートするとともに、自身の花苗・鉢物をアピールすることで、販路開拓と受注確保につなげている。</li> <li>・生産難易度の高い宿根草に生産をシフトし、その品目・品種を多様化させることにより、他生産者との競合を回避することで、1年草のメジャー品目よりも高い1鉢単価での取引を行っている。特に宿根サルビアは全国トップクラスの品揃えで市場における地位を築いている。</li> </ul>

(2) 地域農業振興共励会  
【優秀賞 (知事賞)】

(ふりがな) 受賞者氏名	経営面積等	受賞理由
<p>高松紋平柿生産組合</p> <p>代表 いわの しんいち 岩野 伸一</p> <p>かほく市</p>	<p>柿(紋平柿) 18.0ha</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に埋もれていた在来品種「紋平柿」の栽培・脱渋技術を確立し、市場出荷向け商品に育てたことは、地域特産品を活かした産地育成の先駆的な取り組みである。また、類似品と区別するため「高松紋平」の名称で商標登録し、販促活動に活用する等、一連の販売対策は当地域で栽培されている「かほっくり」をはじめ、本県農産物の生産振興・ブランド化の取り組みに大きな影響を与え、地域の活性化に貢献している。</li> <li>・かほく市内全域の小学校を対象に出前講座やほ場での収穫体験の実施、給食担当者を招いた栽培見学会を開催するなど、食育・地域農業の理解促進に取り組んでいる。</li> </ul>
<p>農事組合法人 時国営農組合</p> <p>代表理事 ふくだ ともあき 福田 友昭</p> <p>輪島市</p>	<p>水稻(主食用米) 23.6ha 水稻(酒米) 0.6ha 作業受託 1.3ha ミニトマト 3.0a</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輪島市町野町南時国の「人・農地プラン」の中心経営体としても位置付けられ、農地中間管理事業により農地集積を進めるとともに、中山間地域等直接支払制度を活用して、地域の環境や資源を維持管理する活動にも積極的に取り組む等、担い手として信頼されている集落営農法人である。</li> <li>・JA町野町の環境と調和した米作りを目指した「能登米運動」のリーダー的存在で取り組みを牽引している。水稻に加えミニトマトの栽培にも新たに取り組む、適切な栽培管理と長期収穫を実現し、高い単収を上げており、地域の大規模水稻生産の複合経営のモデルとなっている。</li> </ul>

(別紙)

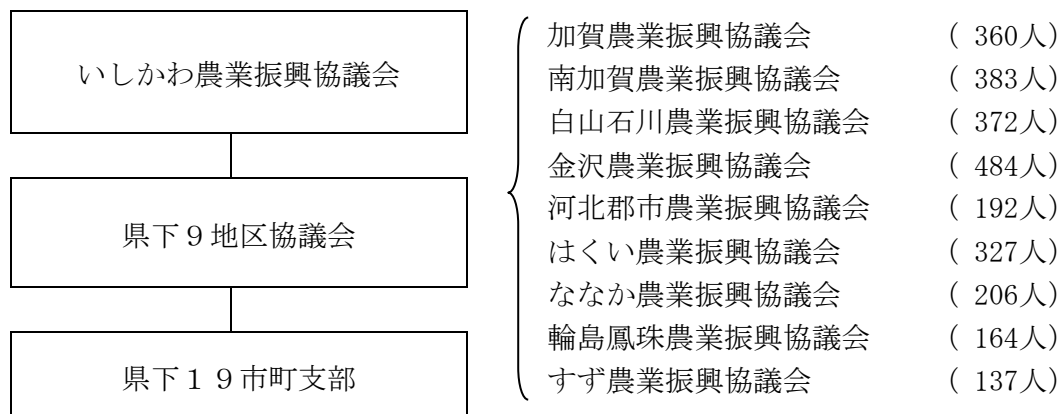
平成29年度会長感謝状被交付者一覧

地区協議会名	氏 <small>ふりがな</small> 名	住 所
加 賀	<small>さかもと</small> 坂 本 <small>ぶんえい</small> 文 栄	加賀市
加 賀	<small>くぼた</small> 久保田 <small>みちこ</small> 美智子	加賀市
白 山 石 川	<small>よしだ</small> 吉 田 <small>ふみこ</small> 文 子	白山市
金 沢	<small>いなもと</small> 稲 本 <small>かつひこ</small> 勝 彦	金沢市
輪 島 鳳 珠	<small>うえだ</small> 上 田 <small>よしまさ</small> 義 正	輪島市
す ず	<small>たけなか</small> 竹 中 <small>かをる</small> かをる	珠洲市

## いしかわ農業振興協議会の概要

- 1 いしかわ農業振興協議会は、県下9地区の地区協議会で組織され、昭和51年12月に石川県中核農家連絡協議会として発足した。

発足後、協議会を取り巻く状況が大きく変化したことにより平成19年に組織の見直し（会員の範囲を拡大、部会制度の導入等）を行い、それにあわせ名称変更を行った。



平成29年4月1日 2,625人

- 2 いしかわ農業振興協議会役員（平成28～29年度）

会 長	元 林 英 夫	(金沢市)
副 会 長	小 蔵 和 浩	(能美市)
副 会 長	今 本 重 蔵	(かほく市)
副 会 長	井 田 啓 一	(七尾市)
副 会 長	平 松 世志子	(加賀市)
女性部会長	中谷内 昭 子	(珠洲市)
顧 問	野 村 善 覚	(小松市)

(平成28年6月13日改選)

- 3 主要行事（平成29年度予定）

(1) 総 会（6月6日：石川県農林総合研究センター）

(2) 知事との現地懇談会（11月7日：珠洲地区）

(3) 研修活動

- ・全国担い手サミット参加（10月24・25日：高知県）
- ・研究発表大会（平成30年2月予定）  
経営改善・事業多角化及び地域農業振興の事例発表

(4) 農林漁業まつり（10月中旬）

- ・地区協議会単位での農産物の展示等